最優秀賞（小学校５・６年生の部）

ミスターＰが大好きなアーサーへ
（課題図書：シロクマが家にやってきた！）【手紙作品】

下妻市立豊加美小学校　５年　河田（かわだ）　真歩（まほ）

こんにちはアーサー。元気ですか。弟のリアムとは、仲良くしていますか。リアムに障害があるから、アーサーはたくさんがまんしないといけないんだね。それって、すごく大変だよね。お父さんもお母さんも、リアムがパニックになると、アーサーにかまうことが出来ないんだ。少しさみしいね。アーサーもお父さんお母さんと、もっといろいろなことをしたいよね。

アーサーが家出をすると決めた時、すごい決断だなになって思ったよ。とても勇気がいることだよね。 でも、シロクマのミスターＰに出会ったんだね。玄関の前に、シロクマが立ってたら、ひっくり返るぐらい、びっくりするだろうな。私なら、どこまでも逃げてしまうと思う。食べられてしまうんじゃないかって思って、ドキドキしてしまったよ。

ミスターＰがいる生活は、ハラハラしたけれど、とても楽しそうだなって思ったよ。学校にも一緒に行ったね。大きな体を、スクールバスに乗せるのは、とても大変な事だと思うけれど、すぐにその状況を受け入れてくれて、手伝ってくれる友達は、とても素敵だと思う。そして校長先生も、素晴らしかったね。

サッカーの試合にミスターＰが行った時、まるでルールが分かっているかのように応援してくれたね。それってすごいことだよね。アーサーも心強かったじゃないかな。いつも負けているチームが優勝するなんて、すごいことだと思う。

ミスターＰは、救世主だったね。きっとミスターＰが来てくれたおかげで、色々なことに気づくことができたと思う。リアムは、本当はアーサーに迷惑をかけたいわけじゃないってことも、本当はお兄ちゃんのことが大好きなんだってことも。そしてサッカーを見るのが本当に好きだってことも、お父さんもお母さんも、アーサーのことを愛してくれていることも。

アーサーは、とても優しいお兄ちゃんだと思うよ。サッカーのカップ戦の決勝のチケットが当たった時、本当は行きたくてたまらないのに、リアムとミスターＰにゆずろうとしたよね。何日も心待ちにして、やっとチケットを手に入れることが出来たのに、だれかにゆずるなんて、私には出来ないと思う。

ミスターＰが別のところに行ってしまうと知った時、とても悲しかったね。ずっと一緒にいられると思っていたのに、私も寂しくて仕方ない気持ちになったよ。ミスターＰは、アーサーの家族と過ごした日々を忘れないと思う。そして、とても楽しかったはずだよ。きっと今もどこかで、だれかを助けて、みんなを喜ばせて、楽しく過ごしていると思う。

私も、寂しい時や悲しい時に、ミスターＰがあらわれて、ぎゅっと抱きしめてほしいな。
でも、あらわれてないってことは、私は幸せなのかもしれない。

みんなが家族を大切にできますように。